証券コード:2927



健康食品・化粧品の受託(OEM)総合メーカー



## 第37期(2017年8月期)株主総会資料

(2016年9月1日~2017年8月31日)





## 健康食品業界の動向



2016年の健康食品市場は、インバウンド需要の減少などがあったものの、機能性表示食品の拡大(品目数の増加)やネット通販の好調により1.5%増の1.2兆円となった。 また近年、スーパーフードやオーガニックなど自然由来の食品の需要が増加傾向にあり、消費者の志向が多様化している。

(年)

西暦

'87 '88 '89 '90 '91 '92 '93 '94 '95 '96 '97 '98 '99 '00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16

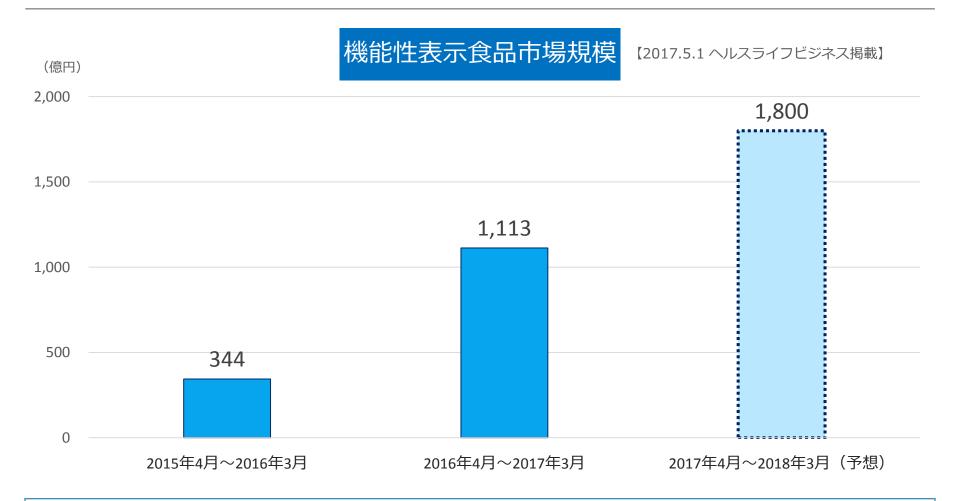
西暦

(年)

'00 '01 '02 '03 '04 '05 '06 '07 '08 '09 '10 '11 '12 '13 '14 '15 '16

# 健康食品業界の動向

### 一機能性表示食品-



市場をけん引しているのは、積極的な宣伝活動を行っている大手メーカーの商品。カテゴリー別では、飲料やヨーグルトなどサプリメント以外の商材が71%、サプリメントは全体の29%となっている。 今後数年は商品がさらに増え、市場規模の拡大は続くと見られる。(ヘルスライフビジネスより)

# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

# 決算報告





## 連結 決算の状況

### 連結 業績比較表(直近3期間)

(単位:百万円)

連結	2015年 (平成27年) 8月期実績	2016年 (平成28年) 8月期実績	2017年 (平成29年) 8月期実績	対前期増減率
売上高	14,415	14,631	15,141	3.5%
営業利益	951	890	1,069	20.0%
経常利益	892	812	1,040	28.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	605	489	465	△4.8%
経常利益率	6.2%	5.6%	6.9%	<del></del>

増収要因:青汁や酵素・酵母関連商品の好調に加え、ドラッグストア向け定番商品の拡大により、 OEM部門が前期比10.7%増となったことが寄与した。

増減益要因:増収及び不採算品目の販売中止効果により、売上総利益が217百万円増加したことが 寄与し、営業利益、経常利益が増益となった。

親会社株主に帰属する当期純利益については、役員退職慰労金や減損損失などの特別損失を計上した影響により減益となった。



# 連結 売上高の状況

## 連結 事業部門別 売上高の状況(直近2期間)<sub>(単位:百万円)</sub>

連結	事業部門	2016年 (平成28年) 8月期実績	2017年 (平成29年) 8月期計画	2017年 (平成29年) 8月期実績	対前期 増減額	対前期増減率
	OEM部門	7,687	8,100	8,509	822	10.7%
	海外部門	685	800	734	48	7.1%
ヘルス ケア	通信販売部門	1,593	1,760	1,704	111	7.0%
事業	卸販売部門	1,070	840	833	△236	△22.1%
店舗販売部	店舗販売部門	2,265	2,180	2,108	△157	△7.0%
	その他	92	120	110	18	19.7%
医薬品 事業	_	1,236	1,200	1,141	△95	△7.7%
合計	_	14,631	15,000	15,141	510	3.5%



## 連結 資産の状況

※借入·社債·割賦未払金 (単位:百万円)

連結	2016年8月期 (平成28年)	2017年8月期 (平成29年)	対前期増減額
資産合計	16,343	16,761	418
内訳 流動資産	8,232	8,308	76
固定資産	8,111	8,452	341
負債合計	8,971	9,098	126
内訳 流動負債	6,001	7,748	1,747
(上記のうち有利子負債※)	(3,128)	(4,714)	(1,586)
固定負債	2,969	1,349	△1,620
(上記のうち有利子負債※)	(2,359)	(917)	(△1,441)
純資産	7,372	7,663	291

流動資産:売上の増加に伴い、売上債権や商品・製品在庫などが増加。

固定資産:当社の工場機械や子会社のジェネリック医薬品製造設備に設備投資し、有形固定資産が増加。

流動負債:返済期限が1年内に到来する長期借入金が固定負債から振替えられ1年内返済予定の長期借入金が増加。

固定負債:返済期限が1年内に到来する長期借入金が流動負債へ。役員退職慰労金の支払いにより、役員退職慰労金が

210百万円減少。

純資産:親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が284百万円増加。



## 単体 決算の状況

## 単体 業績比較表(直近3期間)

(単位:百万円)

単体	2015年 (平成27年) 8月期実績	2016年 (平成28年) 8月期実績	2017年 (平成29年) 8月期実績	対前期増減率
売上高	11,220	11,380	11,930	4.8%
営業利益	739	705	803	13.8%
経常利益	723	677	810	19.5%
当期純利益	488	183	218	19.2%
経常利益率	6.4%	6.0%	6.8%	_

#### 增収增益要因:

連結の増収要因と同様、OEM部門の好調が増収に寄与。

増収効果により、売上総利益が126百万円増加したことが寄与し、営業利益、経常利益が増益となった。 当期純利益については、役員退職慰労金や貸倒引当金繰入額などの特別損失の計上により、税引前当期 純利益は減益となったものの、税効果により増益となった。

# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

# 事業報告と今後の取り組み





# AFC-HDアムスライフサイエンス OEM事業 報告と取り組み

## 2017年8月期

- ●既存顧客の伸長
- ○青汁、酵素・酵母関連商品が安定的に成長
- ○ドラッグストア向けの定番商品が拡大
- ○プラセンタ商品が伸展



青汁

#### 【取引社数】

2016年8月期 2017年8月期

357社 → 369社 増加

- ●大口ット商品が増加
- ●生産量が増加
- ・造粒 前期比 106.7%
- ・打錠 前期比 107.8%
- ・ソフトカプセル 前期比 118.1%
- ・ハードカプセル 前期比 156.1%



#### ●設備投資

- ・スティック充填包装機 2台
- ・ハードカプセル充填機 1 台





多列式自動充填包装機械



# AFC-HDアムスライフサイエンス OEM事業 報告と取り組み

## 2018年8月期

#### ◇機能性表示食品の市場動向

・特定保健用食品制度:1991年3月開始(26年が経過)

許可·承認: 1,086品目 (2017.10.10時点/2017.10.24健康產業速報掲載)

・機能性表示食品制度:2015年4月開始(2年半が経過)

届出受理: 1,090品目(2017.10.20時点/2017.10.24健康產業速報掲載)

品目数でトクホを超えた機能性表示食品は、今後の健康 食品業界の大きな流れになると思われる。

●機能性表示食品について、原料メーカー・販売会社と連携し、より多くの届出受理を目指していく

【当社が取り扱う届出の受理】

2016年8月期 5社 6品目 → 2017年8月期 22社 29品目

●大ロット商品の獲得を強く推進し、 売上増とともに、生産の効率化も 進めていく

- ●拡大傾向にある化粧品の取り扱いを さらに拡充していく
  - · 基礎化粧品
  - ・シャンプー





## OEM事業のサポート ●nyk 日本予防医学研究所 報告と取り組み

## 2017年8月期

#### 原材料の同質性試験

◇健康食品GMPにおいて、受け入れ側も 原料の試験を行うことが求められる



- ・取扱原料(4,000品目以上)を登録
- ·受入試験(照合)開始
- 異物検査も可能



分析機器「FT-IR|

#### ◎利点

理化学試験 外注 数日間



FT-IR内製化 数分 (全品目対応可)

原料の安全性を担保・大幅な時間短縮

### 製剤技術の開発

◇OEM市場の競争激化 他社との差別化が必要



・糖衣コートに替わる錠剤のコーティング技術を

開発

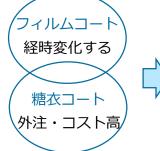




コーティング前

コーティング後

◎利点



### 当社独自コート

安定した被覆力 内製化 コスト削減 (糖衣コートと比較)

品質の向上・信用力の向上



# M OEM事業のサポート NYK 日本予防医学研究所 報告と取り組み

## 2018年8月期

#### 機能性表示食品の届出強化

◇機能性表示食品の市場ニーズに対応



- ①2016年4月「知的財産管理課」を設置。人員を増員。
- ②日本予防医学研究所が届出者となり、届出受理のアイテム数を増強。
- ③受理実績を積み、それを基にOEM顧客の届出をサポート。



機能性表示食品

#### ◎利点

今まで

顧客からの要望 発売まで時間がかかる



当社から提案

今後

短納期

実績のアピール・他社との差別化



## AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部 報告と取り組み

## 2017年8月期

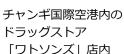
- ●シンガポールOEM顧客の受注伸長
- ・顧客先の販売網の拡大(米国・メキシコなど)
- ●ベトナムOEM顧客の受注伸長
- ・美容商材

#### ◎トピックス

シンガポール政府関係のドラッグストア「UNITY」において、AFC代理店がNo. 1 ブランドを受賞しました



現地新聞広告 2017年8月31日掲載





## 2018年8月期

- ●既存顧客への拡販
- ・美容商材の市場ニーズの高まり
- ・特にベトナムは経済成長が著しく、可処分所得も上昇
- ●販売力のある新規OEM顧客の開拓
- ・現在、引き合いのある企業 3社
- ・銀行のネットワークの活用

#### 取引先状況 (2017年8月期)

香港

OFM顧客

ベトナム

OEM顧客

OEM顧客

シンガポール AFC代理店





## AFC-HDアムスライフサイエンス 国際部 報告と取り組み





チャンギ国際空港内のドラッグストア 「ワトソンズ」店内

現地新聞広告 2017年8月31日掲載

# MAFC 百貨店事業部 報告と取り組み

## 2017年8月期

●自社ブランド商品の推奨



・機能性表示食品の上市

「ラクするUC-II(ユーシーツー)」

・ヒット商品「野菜の極」シリーズの 全面リニューアル

自社品販売比率の引き上げ



国産野菜の極

国産野菜と果実の極



- ●越境ECへの参入
- ·三越伊勢丹「天猫国際 | にて販売開始



天猫国際サイトのAFC商品

●店舗数の減少により減収

## 2018年8月期

- ●引き続き、自社品販売比率の向上 2017年8月期 50% → 2018年8月期月標 55%
- ●販売チャネルの開拓
- ・新規店舗の設置
- 新規での催事等販売(高島屋系列等)

#### ●出店状況

	店舗数
2015年8月末	58
新規出店	2
閉店	5
2016年8月末	55
新規出店	1
閉店	3
2017年8月末	53



# AFC 通販事業部 報告と取り組み

200





## 2017年8月期

- 「mitete(みてて)」ブランドの成功
- 3月、新ブランド「mitete(みてて) | 立ち上げ
- ・順次、主力商品『葉酸サプリ』をはじめとする 結婚・出産・子育て世代に向けた既存商品群を リニューアル

商品群の統一感・コンセプトの明確化



ブランドの確立と優位性を高める

●ブランド統一がクロスセル商品の発展に寄与



131.7%

2016年8月期

2015年8月期

117.2%

2017年8月期



## エーエフシー MAFC 通販事業部 報告と取り組み

## 2017年8月期



●マタニティ雑誌等に広告掲載



●ママイベントへの参加









●各種SNSに掲載





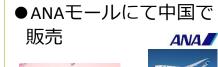




●マタニティマークとの タイアップ広告



都営地下鉄 三田線



リトルペママフェスタ











# MAFC 通販事業部 報告と取り組み

## 2017年8月期

●ドラッグストアとのコラボ企画が好調

・県内のチェーンドラッグストア「杏林堂薬局」との 協力体制が安定





テレビ・ラジオと連動した新聞広告を展開



漢方薬「ヨクイニン」の販売が好調







新聞広告(10月3日 静岡新聞 朝刊)



杏林堂との成功例を元に、 全国へ



# PAFC 通販事業部 報告と取り組み

## 2018年8月期

『葉酸サプリ』のプロモーションを 継続



葉酸サプリ



●ドラッグストアとのコラボ企画の推進





ヨクイニン



新聞広告(10月25日 静岡新聞 朝刊)

### ●好調商品・機能性表示食品の販促強化

・新聞広告:全国紙への継続的な出稿

・TVCM:地上波、WebTV

◎好調商品





薬用アミノ酸シャンプー 爽快柑



ルテインGOLD



◎機能性表示食品

イチョウ葉GOLD

#### ◎全国紙 広告



新聞広告(9月14·15·20日\_読売新聞\_朝刊)



新聞広告(10月18:19日\_読売新聞\_朝刊)



# エーエフシー 営業部 報告と取り組み

## 2017年8月期

- ●コラーゲン関連商品の受注が伸長
- ・3月1日放送 NHK「ガッテン!」のコラーゲン 特集が影響

華舞の食べるコラーゲン

- ●葉酸サプリの卸販売を開始
- ベビーザらス、西松屋、 アカチャンホンポ









●インバウンド向け商品の受注減少に より減収

## 2018年8月期

●販促・広告の充実とキャンペーン などの実施

●機能性表示食品の上市と充実化

#### 『イチョウ葉エキス粒』

・発売日:10月6日

・届出番号: C121

・記憶力を維持する

・価格:1,680円(税抜)



イチョウ葉エキス粒

# 本草製薬

# 本草製薬報告と取り組み

## 2017年8月期

漢方薬の製造・販売に特化 生薬原料の高騰により、利益率が低下

●ジェネリック事業を拡大するにあたり、自社開発・製造が必須となり、 既存工場を改築



犬山工場 (愛知県犬山市)

改築工事スケジュール

着工 2017年2月10日

完工 2017年8月末

## 2018年8月期

- ●ジェネリック医療用医薬品の上市
- ・ピムロ顆粒

(先発薬:アローゼン/ポーラファルマ)

〔センナ下剤〕 市場:15億円

【 2月:ロート製薬子会社 摩耶堂製薬から承継】

【11月22日:承認を取得】

【12月1日:上市予定】

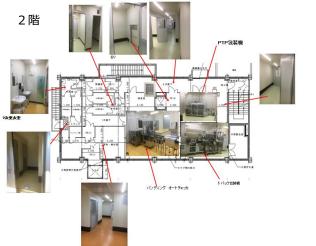
- ●ジェネリックOTC医薬品の上市
  - 解熱鎮痛剤
  - · 抗炎症剤
  - ・口内炎、のどの痛み
  - ・アレルギー性鼻炎薬

# 本ত製薬

# 本草製薬報告と取り組み

### ●犬山工場改築図面





### ●ピムロ顆粒









顆粒

分包(表)

分包(裏)

外箱





# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

# 中·長期計画





# エーエフシー 新規事業 日本語学校

#### 海外事業の強化

#### 問題点

- ・将来、国内人口は減少
- ・働き手の不足
- ・消費人口の減少

#### 目的

・海外事業を強化していく



日本語学校の外観イメージ(静岡市)

#### 外国人労働者の課題

- ・言葉の壁(コミュニケーション)
- ・品質の維持

#### 手段

・日本語学校を設立、運営し、育成する

#### 手段の詳細

- ①日本語学校で、語学のほか日本の習慣や道徳を学んで もらう。
- ②当社の職場で、生産・営業・管理・経営などに関する 必要な知識や技術を経験を通じて習得。
- ③母国で、その知識などを活かして商品販売や製造などを おこなう。

名称: AFC INTERNATIONAL ACADEMY

- ■スケジュール(すべてが順調に進んだ場合)
  - ・2018年 3月 建物引き渡し
  - ・2018年 4月 入国管理局(法務省)へ申請、審査
  - ・2019年 4月 開校

#### ■学校概要

・敷地面積:約300坪

・延床面積:約350坪(4階建て・学校/寄宿舎棟)

・学牛定員:240名(6教室×20名、2部制)

• 学牛寮併設

# AFC-HDアムスライフサイエンスグループ

# 業績予想





# 2018年8月期連結予想

(単位:百万円)

連結	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	14,631	15,141	15,500	2.4%
営業利益	890	1,069	1,170	9.4%
経常利益	812	1,040	1,120	7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	489	465	660	41.7%

### ●2018年8月期 部門別 売上高予想



## 最後まで御覧いただきまして誠にありがとうございました



### 本資料に関するお問い合わせ

#### 社長室

TEL: 054-281-5238

FAX: 054-281-5139

E-mail: ir-ams@ams-life.com

URL: http://www.ams-life.com/

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述している将来の見通しと異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。